

沼津市文化財調査報告書 第124集

# 沼津市内遺跡発掘調査報告書 4

令和元年度  
本発掘調査  
春ノ木遺跡  
史跡内容確認調査  
興国寺城跡  
試掘・確認調査  
桜公園遺跡・松長古墳群・石田古墳群・天神洞古墳群他

2022

沼津市教育委員会



沼津市文化財調査報告書 第124集

# 沼津市内遺跡発掘調査報告書 4

令和元年度  
本発掘調査  
春ノ木遺跡  
史跡内容確認調査  
興国寺城跡  
試掘・確認調査  
桜公園遺跡・松長古墳群・石田古墳群・天神洞古墳群他

2022

沼津市教育委員会



## 例　言

1 本書は、沼津市が令和元年度に国庫補助金等を得て市内遺跡発掘調査等事業として実施した本発掘調査及び試掘・確認調査の報告書である。

調査箇所名については、調査当時の埋蔵文化財包蔵地範囲に準拠して呼称している。

2 令和元年度の本発掘調査・試掘調査・確認調査は、沼津市教育委員会事務局文化振興課が担当し、文化庁補助金（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）、静岡県文化財保存費補助金を得て実施した。

3 本書に関わる資料整理は、令和3年度の文化庁補助金（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）、静岡県文化財保存費補助金を得て実施した。

4 事業関係者は以下のとおりである。

令和元年度

|       |                                |         |           |
|-------|--------------------------------|---------|-----------|
| 事業主体者 | 沼津市教育委員会                       | 教　育　長   | 奥村 篤      |
|       | 沼津市教育委員会事務局                    | 教　育　次　長 | 芹澤一男      |
| 事業担当者 | 文化振興課                          | 課　　長    | 原 将史      |
|       |                                | 課　長　補　佐 | 鶴田晴徳・杉山好永 |
|       |                                | 文化財調査係長 | 小崎 晋      |
| 調査担当者 | 春ノ木遺跡                          | 学　芸　員   | 谷口哲也      |
|       | 興国寺城跡                          | 副主任学芸員  | 木村 聰      |
|       | 桜公園遺跡                          | 学　芸　員   | 谷口哲也      |
|       | 松長古墳群                          | 学　芸　員   | 谷口哲也      |
|       |                                | 指　導　主　事 | 前嶋秀張      |
|       | 石田古墳群                          | 指　導　主　事 | 前嶋秀張      |
|       | 天神洞古墳群                         | 文化財調査係長 | 小崎 晋      |
|       | 岡宮北土地区画整理事業                    | 指　導　主　事 | 前嶋秀張      |
|       | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線 | 指　導　主　事 | 前嶋秀張      |

令和3年度

|       |             |          |           |
|-------|-------------|----------|-----------|
| 事業主体者 | 沼津市教育委員会    | 教　育　長    | 奥村 篤      |
|       | 沼津市教育委員会事務局 | 教　育　次　長  | 山本貴史      |
| 事業担当者 | 文化振興課       | 課　　長     | 林 敬博      |
|       |             | 課　長　補　佐  | 鶴田晴徳・板倉広子 |
|       |             | 文化財調査係長  | 小崎 晋      |
|       |             | 学　芸　員    | 小林晃太郎     |
|       |             | 会計年度任用職員 | 鈴木史子      |

5 資料整理の実務は、沼津市文化財センターで実施し、本書の執筆・編集は小林・鈴木が担当した。

6 本書に関わる発掘調査の記録類及び出土遺物は、沼津市教育委員会事務局文化振興課（沼津市文化財センター 〒 410-0106 沼津市志下 530）で保管している。

## 凡 例

1 方位は国家座標の真北方位で、座標値は世界測地系に準拠している。標高は、東京湾の平均海面を基準とした海拔高である。

2 実測図の縮尺は各図に表示するとともに、出土遺物の実測図については、土器 1/3 または 2/5、石器 4/5 とした。

3 土層・土器胎土の色調・記号は、『新版 標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局・(財)日本色彩研究所に基づいて記載し、計測は土色計（SCR-1 第一合成株式会社製）を用いた。

4 本書内の略号は以下のとおりである。

TP：テストピット（試掘坑） TR：トレチ（試掘溝） SB：竪穴住居址 SD：溝状遺構

SG：集石 SH：掘立柱建物跡 SY：焼土 PT：小穴

5 遺物観察表における推定値・復元値・残存値には（ ）を付して表記した。

6 本報告書で用いる出土遺物についての記述は、以下の文献を参考とした。

加納俊介・石黒立人編 2002『弥生土器の様式と編年－東海編－』株式会社木耳社

財団法人浜松市文化協会 1998『梶子北遺跡 遺物編（本文）』

沼津市教育委員会 2016『中原遺跡発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書第 113 集

2019『史跡興国寺城跡調査報告書 - 発掘調査報告書編 -』

沼津市文化財調査報告書第 119 集

2021『沼津市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書 3』

沼津市文化財調査報告書第 122 集

## 目 次

例言

凡例

### 第Ⅰ章 調査概要

|                   |   |
|-------------------|---|
| 第 1 節 調査の概要 ..... | 1 |
|-------------------|---|

### 第Ⅱ章 令和元年度の調査

#### 第 1 節 本発掘調査

|                 |   |
|-----------------|---|
| (1) 春ノ木遺跡 ..... | 2 |
|-----------------|---|

#### 第 2 節 史跡内内容確認調査

|                 |   |
|-----------------|---|
| (1) 興國寺城跡 ..... | 8 |
|-----------------|---|

#### 第 3 節 試掘・確認調査

|                 |    |
|-----------------|----|
| (1) 桜公園遺跡 ..... | 10 |
|-----------------|----|

|                      |    |
|----------------------|----|
| (2) 松長古墳群(1~4) ..... | 11 |
|----------------------|----|

|                 |    |
|-----------------|----|
| (3) 石田古墳群 ..... | 16 |
|-----------------|----|

|                  |    |
|------------------|----|
| (4) 天神洞古墳群 ..... | 17 |
|------------------|----|

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| (5) 岡宮北土地區画整理事業地内(大泉寺畠遺跡・山神上遺跡) ..... | 18 |
|---------------------------------------|----|

|  |    |
|--|----|
| (6) 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内(桃里地区) ..... | 22 |
|--|----|

写真図版

報告書抄録

## 挿図目次

|  |    |
|--|----|
| 第 1 図 調査地位置図 .....                     | 1  |
| 第 2 図 春ノ木遺跡位置図 .....                   | 2  |
| 第 3 図 春ノ木遺跡 1 区位置図 .....               | 2  |
| 第 4 図 春ノ木遺跡 1 区平面図・断面図 .....           | 3  |
| 第 5 図 春ノ木遺跡 1 区出土遺物実測図 .....           | 3  |
| 第 6 図 春ノ木遺跡 2 区位置図 .....               | 4  |
| 第 7 図 春ノ木遺跡 2 区第 1 号竪穴住居址平面図・断面図 ..... | 5  |
| 第 8 図 春ノ木遺跡 2 区出土遺物実測図 .....           | 6  |
| 第 9 図 春ノ木遺跡 3 区位置図 .....               | 7  |
| 第 10 図 春ノ木遺跡 3 区平面図・断面図 .....          | 7  |
| 第 11 図 興國寺城跡位置図 .....                  | 8  |
| 第 12 図 興國寺城跡調査区配置図 .....               | 8  |
| 第 13 図 興國寺城跡調査区 1・2 平面図 .....          | 9  |
| 第 14 図 桜公園遺跡調査地位置図 .....               | 10 |
| 第 15 図 桜公園遺跡試掘坑配置図・柱状図 .....           | 10 |
| 第 16 図 松長古墳群調査地全体図 .....               | 11 |
| 第 17 図 松長古墳群 1 調査地位置図 .....            | 11 |
| 第 18 図 松長古墳群 1 試掘坑配置図・柱状図 .....        | 11 |

|        |  |    |
|--------|--|----|
| 第 19 図 | 松長古墳群 2 調査地位置図   | 12 |
| 第 20 図 | 松長古墳群 2 試掘坑配置図・柱状図   | 12 |
| 第 21 図 | 松長古墳群 3 調査地位置図   | 13 |
| 第 22 図 | 松長古墳群 3 試掘坑配置図・柱状図   | 13 |
| 第 23 図 | 松長古墳群 3 出土遺物実測図  | 14 |
| 第 24 図 | 松長古墳群 4 調査地位置図   | 15 |
| 第 25 図 | 松長古墳群 4 試掘坑配置図・柱状図   | 15 |
| 第 26 図 | 石田古墳群調査地位置図  | 16 |
| 第 27 図 | 石田古墳群試掘坑配置図・柱状図  | 16 |
| 第 28 図 | 天神洞古墳群調査地位置図   | 17 |
| 第 29 図 | 天神洞古墳群試掘坑配置図・柱状図   | 17 |
| 第 30 図 | 岡宮北土地区画整理事業地内調査地位置図  | 18 |
| 第 31 図 | 岡宮北土地区画整理事業地内試掘溝・試掘坑配置図  | 19 |
| 第 32 図 | 岡宮北土地区画整理事業地内試掘溝 1・2 平面図・断面図                                   | 20 |
| 第 33 図 | 岡宮北土地区画整理事業地内試掘坑 2・3 平面図・断面図                                   | 21 |
| 第 34 図 | 第 3 号溝状遺構出土遺物実測図   | 21 |
| 第 35 図 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）<br>調査地位置図               | 22 |
| 第 36 図 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）<br>土層柱状図                | 22 |
| 第 37 図 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）<br>試掘溝・試掘坑配置図           | 23 |
| 第 38 図 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）<br>試掘溝 17・試掘坑 2 平面図・断面図 | 24 |
| 第 39 図 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）<br>試掘溝 30・31 平面図・断面図    | 25 |

## 挿表目次

|       |                      |    |
|-------|----------------------|----|
| 第 1 表 | 調査地一覧表               | 1  |
| 第 2 表 | 春ノ木遺跡 1 区出土遺物観察表     | 3  |
| 第 3 表 | 春ノ木遺跡 2 区出土遺物観察表     | 6  |
| 第 4 表 | 松長古墳群 3 出土遺物観察表      | 14 |
| 第 5 表 | 岡宮北土地区画整理事業地内出土遺物観察表 | 21 |

## 写真図版目次

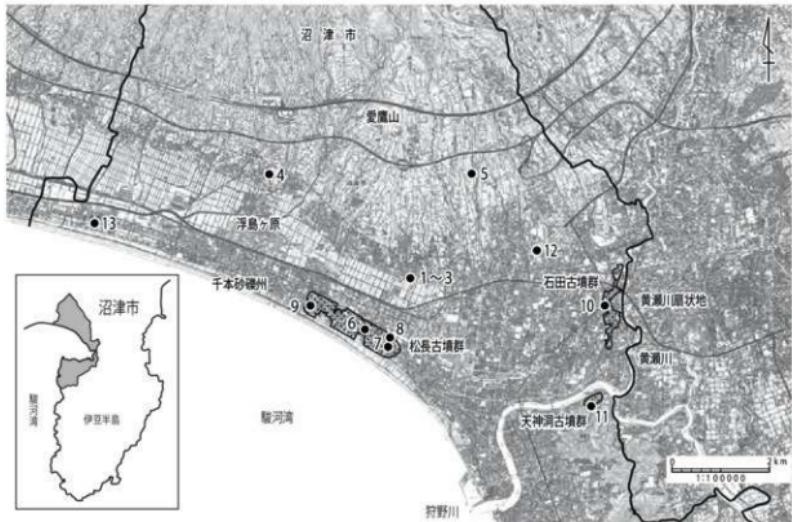
- PL. 1 春ノ木遺跡 1区 調査地（南西より）  
春ノ木遺跡 1区 作業状況  
春ノ木遺跡 1区 調査区完掘（南より）
- PL. 2 春ノ木遺跡 1区 出土遺物  
春ノ木遺跡 2区 作業状況  
春ノ木遺跡 2区 第1号竪穴住居址遺物出土状況
- PL. 3 春ノ木遺跡 2区 調査区完掘（北より）  
春ノ木遺跡 2区 出土遺物
- PL. 4 春ノ木遺跡 3区 作業状況  
春ノ木遺跡 3区 調査区完掘（東より）  
春ノ木遺跡 3区 出土遺物
- PL. 5 興國寺城跡 本丸跡全景（南より）  
興國寺城跡 調査区全景  
興國寺城跡 作業状況（南西より）
- PL. 6 興國寺城跡 作業状況（西より）  
興國寺城跡 石垣検出状況（南より）  
興國寺城跡 石垣検出状況 近景（南西より）
- PL. 7 桜公園遺跡 調査地（西より）  
桜公園遺跡 試掘坑重機掘削  
桜公園遺跡 試掘坑土層断面（南より）
- PL. 8 松長古墳群 1 調査地（北より）  
松長古墳群 1 試掘坑重機掘削  
松長古墳群 1 試掘坑土層断面（南より）
- PL. 9 松長古墳群 2 調査地（北より）  
松長古墳群 2 試掘坑重機掘削  
松長古墳群 2 試掘坑土層断面（東より）
- PL. 10 松長古墳群 3 調査地（南西より）  
松長古墳群 3 試掘坑 1 重機掘削  
松長古墳群 3 試掘坑 1 土層断面（南より）
- PL. 11 松長古墳群 3 試掘坑 2 土層断面（南より）  
松長古墳群 3 試掘坑 2 遺物出土状況  
松長古墳群 3 出土遺物
- PL. 12 松長古墳群 4 調査地（南より）  
松長古墳群 4 試掘坑 1 重機掘削  
松長古墳群 4 試掘坑 1 土層断面（南より）
- PL. 13 石田古墳群 調査地（西より）  
石田古墳群 試掘坑重機掘削  
石田古墳群 試掘坑土層断面（南より）

|       |   |
|-------|---|
| PL.14 | 天神洞古墳群 調査地（西より）<br>天神洞古墳群 試掘坑重機掘削<br>天神洞古墳群 試掘坑土層断面（南より）  |
| PL.15 | 岡宮北土地区画整理事業地内 A区重機掘削<br>岡宮北土地区画整理事業地内 A区人力掘削<br>岡宮北土地区画整理事業地内 A区試掘坑 2 土層断面（南西より）  |
| PL.16 | 岡宮北土地区画整理事業地内 A区試掘坑 3 土層断面（南より）<br>岡宮北土地区画整理事業地内 B区試掘溝 1 第1号溝状造構土層断面（西より）<br>岡宮北土地区画整理事業地内 C区試掘溝 2 土層断面（東より）  |
| PL.17 | 岡宮北土地区画整理事業地内 D区試掘坑 5 人力掘削<br>岡宮北土地区画整理事業地内 E区試掘坑 6 土層断面（南より）<br>岡宮北土地区画整理事業地内 出土遺物   |
| PL.18 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 調査地<br>東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 重機掘削<br>東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 試掘坑 2 人力掘削                                    |
| PL.19 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 試掘坑 2 土層断面（東より）<br>東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 試掘溝 30（南より）<br>東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 試掘溝 30<br>第3号溝状造構土層断面（東より） |
| PL.20 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 試掘溝 31（南より）<br>東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 試掘溝 31<br>第3号溝状造構土層断面（西より）<br>東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区） 調査後             |

## 第Ⅰ章 調査概要

### 第1節 調査の概要

令和元年度は、補助事業として個人住宅建設に係る本発掘調査、史跡整備に係る史跡内容確認調査、大規模開発や個人住宅建設等に係る試掘・確認調査について合計13件を実施した（第1図・第1表）。対象となった箇所は春ノ木遺跡、興国寺城跡、桜公園遺跡、松長古墳群、石田古墳群、天神洞古墳群、岡宮北土地区画整理事業地内（大泉寺畠遺跡、山神上遺跡）、及び東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）である。



第1図 調査地位置図

第1表 調査地一覧表

| 番号 | 調査区分   | 遺跡名・地区  | 番号 | 調査区分    | 遺跡名・地区                                    |
|----|--------|---------|----|---------|---|
| 1  | 本発掘調査  | 春ノ木遺跡1区 | 8  | 確認調査    | 松長古墳群3                                    |
| 2  | 本発掘調査  | 春ノ木遺跡2区 | 9  | 確認調査    | 松長古墳群4                                    |
| 3  | 本発掘調査  | 春ノ木遺跡3区 | 10 | 確認調査    | 石田古墳群                                     |
| 4  | 内容確認調査 | 興国寺城跡   | 11 | 確認調査    | 天神洞古墳群                                    |
| 5  | 確認調査   | 桜公園遺跡   | 12 | 試掘・確認調査 | 岡宮北土地区画整理事業地内<br>(大泉寺畠遺跡、山神上遺跡)           |
| 6  | 確認調査   | 松長古墳群1  | 13 | 試掘調査    | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業<br>東海旅客鉄道東海道本線地内(桃里地区) |
| 7  | 確認調査   | 松長古墳群2  |    |         |   |

## 第Ⅱ章 令和元年度の調査

### 第1節 本発掘調査

#### (1) 春ノ木遺跡

令和元年度は3件の本発掘調査を実施した。調査対象となった遺跡は、沼津市東椎路字春ノ木に所在する春ノ木遺跡で、弥生時代の集落跡として周知されている。3区画の造成工事に伴い、平成30年度に確認調査を実施した結果、埋蔵文化財が確認された。このため、個人住宅の建設工事に先立ち3件の浄化槽部分が本発掘調査対象となったことから、1~3の調査区に分けて実施した。

##### ①春ノ木遺跡1区

###### 所在地

沼津市東椎路字春ノ木 902番7外

###### 調査面積

約4.4m<sup>2</sup>

###### 調査期間

令和元年6月25日

###### 調査原因

個人住宅の新築

###### 調査の概要

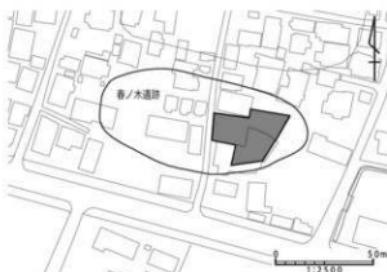
当該地は個人住宅の新築予定地である。浄化槽の設置範囲に調査区を設定して、重機により表土を除去したのち、人力によって掘り下げた。

###### 調査の結果

地表面から-0.9mまで表土となっており、遺物が少量混入している状態であった。表土より下は第1層が暗褐色土層、第2層が褐色土層となっており、いずれの層位からも弥生時代の土器片が出土した。確認調査時において、地表下-0.7mで弥生土器を含む包含層、地表下-0.9mで富士黒土層を確認していることから、第1層・第2層は遺構の覆土である可能性が高い(第4図)。

1区出土の遺物のうち、4点を図示した(第5図)。

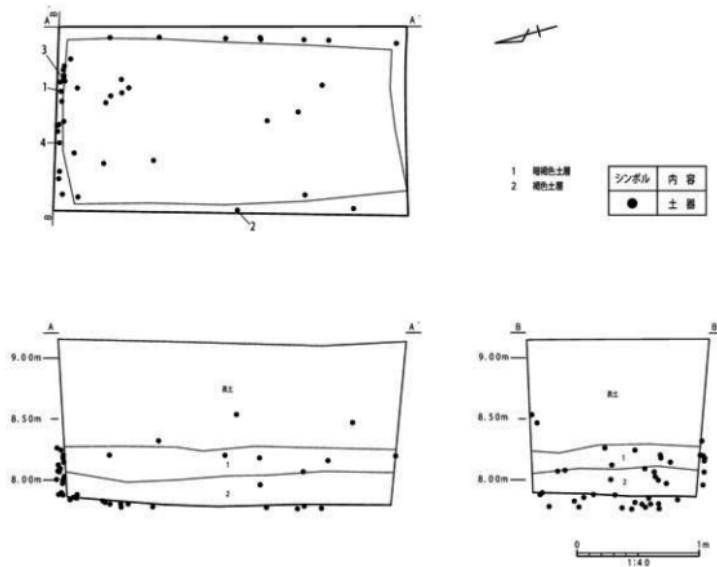
遺物は甕(1~4)が出土している。1・2は甕の口縁部の一部で、1は外傾して立ちあがる器形を呈する。内外面をハケメで調整し、口縁端部には刻みを施す。2は大きく外反する器形を呈し、口縁端部に刻みを施す。3は甕の胴部で斜状にヘラ描沈線を施す。4は台付甕の脚台部の一部で欠損が激しい。底部内面にハケメ調整がわずかに残る。



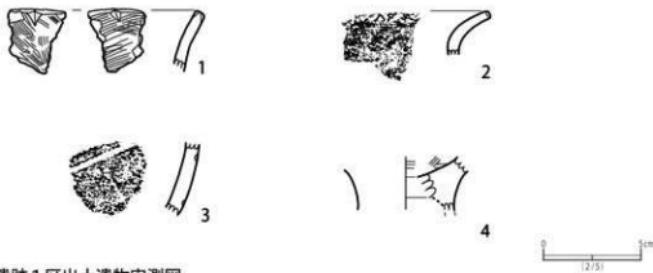
第2図 春ノ木遺跡位置図



第3図 春ノ木遺跡1区位置図



第4図 春ノ木遺跡1区平面図・断面図



第5図 春ノ木遺跡1区出土遺物実測図

第2表 春ノ木遺跡1区出土遺物観察表

| 調査<br>番号 | 遺物<br>番号 | 出土<br>地点 | 種類  | 口径<br>直径<br>測定<br>部位 | 地土                        | 構成 | 色調             | 性状  | 形態の特徴        | 手法の特徴                        | 備考   |
|----------|----------|----------|-----|----------------------|---------------------------|----|----------------|-----|--------------|------------------------------|------|
| 5図<br>1  | 28       | 1区       | 窓   | —                    | φ 1mm の白色砂粒 25 含む         | 良  | TSYR5-6 黄褐色    | 口縁部 | 口縁は外傾して立ち上がる | 外張 ハケメ<br>口縁端部に剥き日<br>内面 ハケメ | 野生中頃 |
| 5図<br>2  | 40       | 1区       | 窓   | —                    | φ 1mm の白色砂粒 25 含む         | 良  | TDYR6-4 に近い黄褐色 | 口縁部 | 口縁は大きく外反する   | 外張 ナデ<br>口縁端部に剥き日<br>内面 ナデ   | 野生中頃 |
| 5図<br>3  | 27       | 1区       | 窓   | —                    | φ 1mm の白色砂粒 25 含む<br>裏面含む | 良  | TDYR5-3 に近い黄褐色 | 網目  | 内溝する         | 片張 ハラ張 網目<br>内面 ナデ           | 野生中頃 |
| 5図<br>4  | 29       | 1区       | 苔付窓 | —                    | φ 1mm の白色砂粒 25 含む         | 良好 | TSYR6-6 棕色     | 網目部 | —            | 外張 ナデ<br>内面 ハケメ              | 野生中頃 |

## ②春ノ木遺跡2区

### 所在地

沼津市東椎路字春ノ木 902 番3

### 調査面積

4.2m<sup>2</sup>

### 調査期間

令和元年6月26日

### 調査原因

個人住宅の新築

### 調査の概要

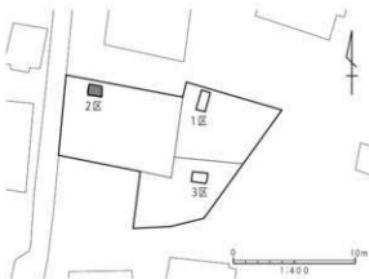
当該地は個人住宅の新築予定地である。確認調査時には、地表下-0.5mから遺構検出面を確認している。浄化槽の設置範囲に調査区を設定して、重機により表土を除去したのち、人力によって掘り下げた。

### 調査の結果

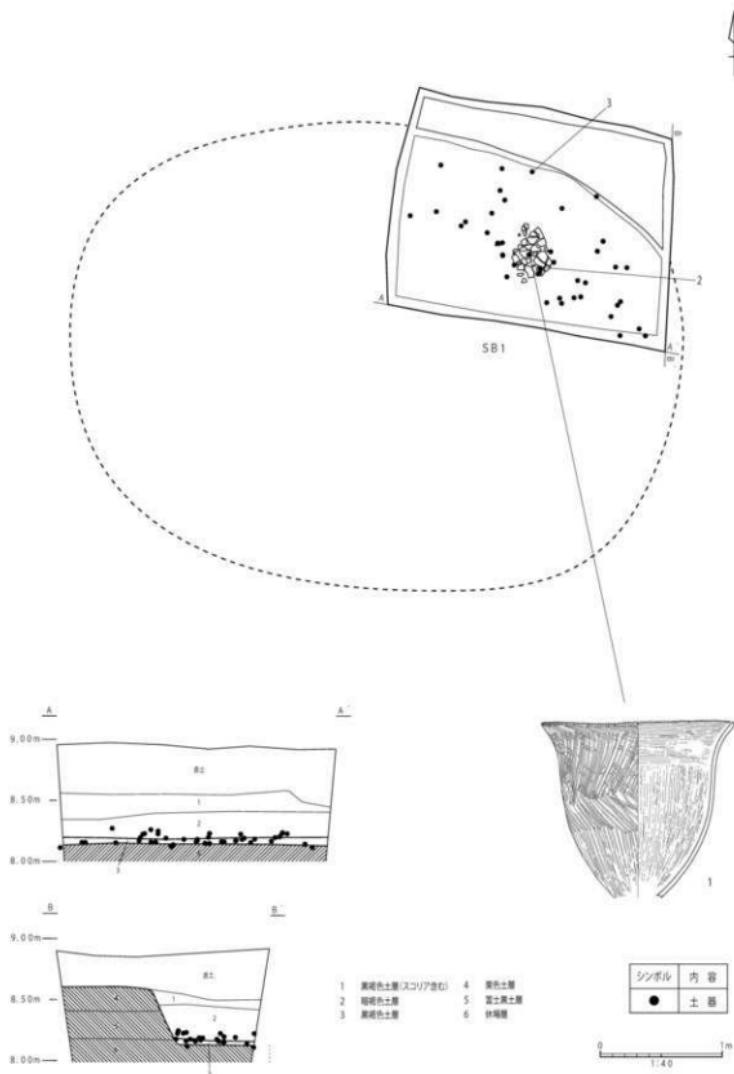
竪穴住居址1軒（SB1）を検出した（第7図）。表土を除去した後、人力で精査した結果、調査区南側半分で平面プランを検出した。SB1の上面は後世の削平を受けており、確認できたのは栗色土層からで、休場層上面まで掘り込まれていた。掘削範囲が限られていることから、確認できたのは一部のみであったが、検出状況から平面形は最大幅が東西約5m、南北約3.8mのやや楕円形か偶丸方形を呈すると推測される。検出面から床面までは0.4mを測る。覆土は2層に分層され、床面相当の第3層において硬化面は確認できなかったものの、比較的均一な高さで遺物が出土していることから、当時の床面と考えられる。ただし、炉跡、主柱穴、周壁溝を確認することはできなかった。

SB1出土遺物のうち、3点を図示した（第8図）。いずれも弥生土器の甕である。

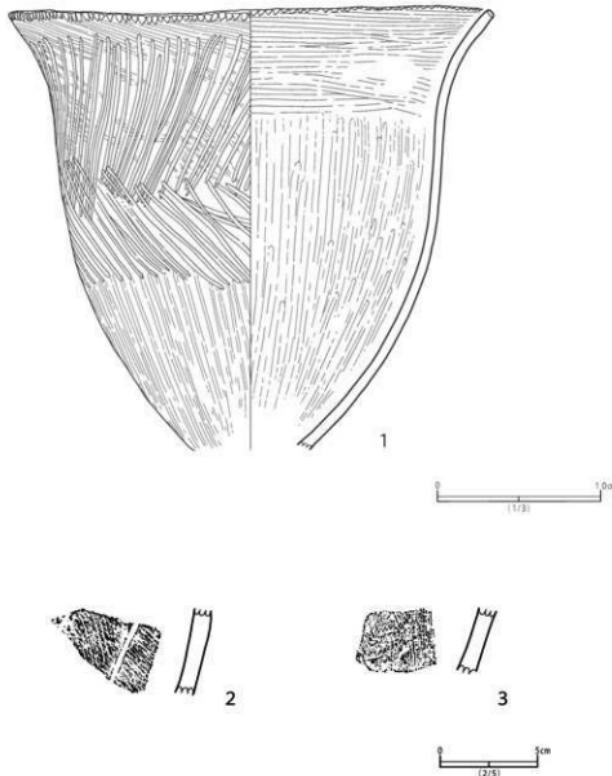
1は底部を欠損するものの完形に近く、胴部下半から上半にかけて緩やかに内湾して立ち上がり、頸部から口縁にかけて外反する器形を呈する。口縁端部にはヘラ状工具を用いて連続した刻みを施し、胴部上半にはハケメを基調として羽状のヘラ描沈線を施す。胴部下半はタテミガキによる調整が認められる。内面は口縁部から頸部にかけてヨコミガキ、胴部から底部にかけてタテミガキで整えている。2は甕胴部の破片である。外面は細かな条痕で調整したのち、斜状に数条のヘラ描沈線を施す。外面の文様が1に類似するものの、内面は横位のハケメで調整しており、別個体と判断される。3は甕の一部と推定される。胴部下半の破片で外面には縦位および斜位のハケメ調整が認められる。



第6図 春ノ木遺跡2区位置図



第7図 春ノ木遺跡2区第1号竪穴住居址平面図・断面図



第8図 春ノ木遺跡2区出土遺物実測図

第3表 春ノ木遺跡2区出土遺物観察表

| 図版<br>番号 | 遺物<br>番号 | 出土<br>地点 | 基層 | 口縁<br>周長<br>直径                | 胎土                             | 構成 | 色調           | 保存       | 形態的特徴                                    | 手法的特徴  | 備考   |
|----------|----------|----------|----|-------------------------------|--------------------------------|----|--------------|----------|--|--|------|
| 8図<br>1  | 29       | SB 1     | 壺  | 29.2cm<br>(27.1cm)<br>(7.2cm) | φ 1mmの白色砂粒<br>φ 1mmの赤褐色<br>合む  | 良好 | SYR4/3に近い赤褐色 | 口縁部一側削下半 | 削痕下から上半にかけ縦や<br>かくに施して立ち上がり。口縁<br>部は外反する | 外面 上半部ハケタ・頭部後、羽状の<br>へラ彫刻痕。下半部タミガキ<br>口縁部には刷毛を施す<br>内面 ダマスカサ、口縁部ヨコガキ | 株生中層 |
| 8図<br>2  | -        | SB 1     | 壺  | -                             | φ 1mmの白色砂粒<br>φ 1mmの褐色<br>合む   | 良好 | SYR4/1 暗灰色   | 底部       | 内溝する                                     | 外面 ハケタ・基礎の羽状彫刻<br>内面 縞部ハケタ   | 株生中層 |
| 8図<br>3  | 35       | SB 1     | 壺  | -                             | φ 1mmの黒色砂粒<br>φ 1mmの褐黃褐色<br>合む | 良  | 10YR6/6 明黄褐色 | 削痕下半     | 内溝する                                     | 外面 ハケタ・縦位羽状<br>内面 ハケタ  | 株生中層 |

### ③春ノ木遺跡3区

#### 所在地

沼津市東椎路字春ノ木902番6外

#### 調査面積

4 m<sup>2</sup>

#### 調査期間

令和元年10月21日

#### 調査原因

個人住宅の新築

#### 調査の概要

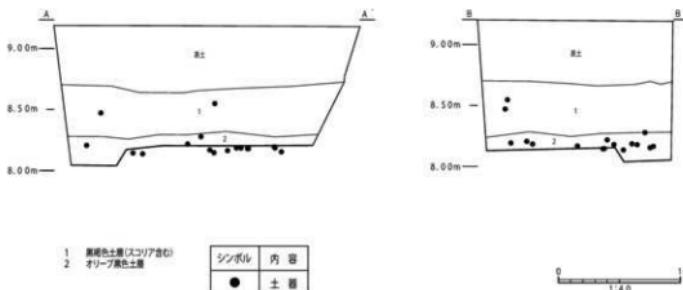
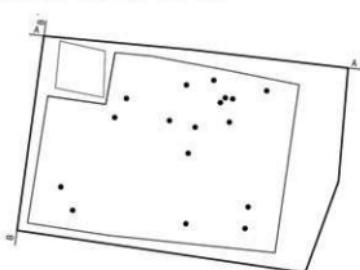
当該地は個人住宅の新築予定地である。浄化槽の設置範囲に調査区を設定して、重機により表土を除去したのち、人力によって掘り下げた。

#### 調査の結果

地表から0.5mまでは表土となっており、以下第1層黒褐色土層、第2層オリーブ黒色土層と続き、第2層から弥生時代の土器片が出土している（第10図）。1区と同様に、第1層及び第2層は遺物包含層または遺構の覆土である可能性が高い。3区出土の遺物は小片のみで図示が困難であったため、写真掲載にとどめた（PL. 4）。



第9図 春ノ木遺跡3区位置図



第10図 春ノ木遺跡3区平面図・断面図

## 第2節 史跡内容確認調査

### (1) 興國寺城跡

#### 所在地

沼津市根古屋字赤池 126-3 外

#### 調査面積

200m<sup>2</sup>

#### 調査期間

令和元年 10月1日～令和2年1月10日

#### 調査原因

史跡整備

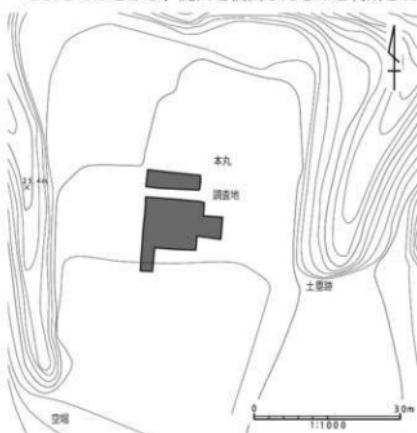
#### 調査の概要

国指定史跡である興國寺城跡については、史跡整備のための内容確認調査として実施した。内容確認調査は平成14年度より継続して実施しており、その成果は平成29年度調査の一部を含め『史跡興國寺城跡調査報告書・発掘調査報告編-』(2019)にまとめられている。その中で、「今後の課題」として本丸跡が取り上げられたことから、令和元年は本丸中央部に調査区を2か所設定した。当該箇所は過去の調査で方形に並ぶ石列が確認されている場所であるが、今回はさらに面的に掘り下げることで、本丸内の建物配置など空間構成を明らかにすることを目的とした。

調査の結果、小穴(PT) 17基、溝状遺構(SD) 6条、掘立柱建物跡(SH) 1棟、石垣を確認した(第13図)。石垣には裏込めを伴う部分も認められた。石垣は北面、東面、南面の一部が残存している。これらのことから、虎口を検出したものと判断される。

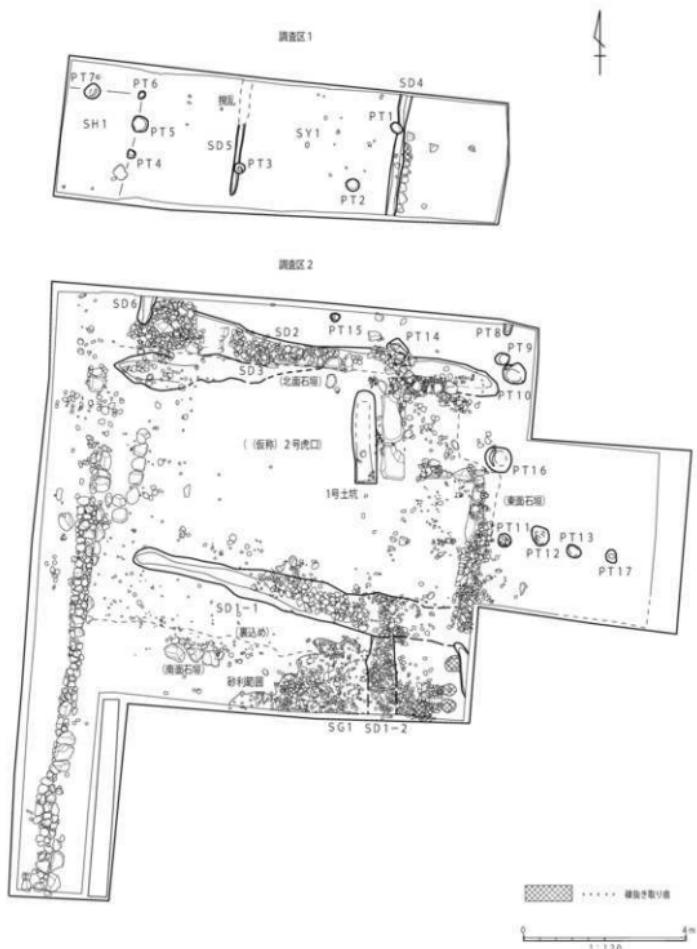


第11図 興國寺城跡位置図



第12図 興國寺城跡調査区配置図

本丸虎口は令和元年度調査区よりも南側の二ノ丸との境にて門跡を検出しているため、今回検出した虎口を2号虎口と仮称する。本丸内の空間構造については、さらに検討を重ねる必要があることから、本書では調査区平面図の掲載にとどめ、詳細については今後の調査成果を踏まえ改めて報告する。



第13図 興國寺城跡調査区1・2平面図

### 第3節 試掘・確認調査

令和元年度は9件の試掘・確認調査を実施した。対象となった調査箇所は周知の埋蔵文化財包蔵地である桜公園遺跡、松長古墳群、石田古墳群、天神洞古墳群と大規模な開発が計画されている沼津市岡宮地区及び桃里地区である。

#### (1) 桜公園遺跡

##### 所在地

沼津市足高 156-1

##### 調査面積

3m<sup>2</sup>

##### 調査期間

令和元年9月26日

##### 調査原因

井戸水浄化設備整備工事

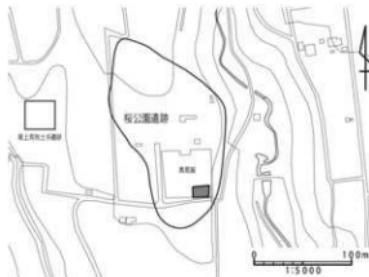
##### 調査の概要

確認調査は、対象地に試掘坑(TP)を1か所設定し、重機によって掘削した。

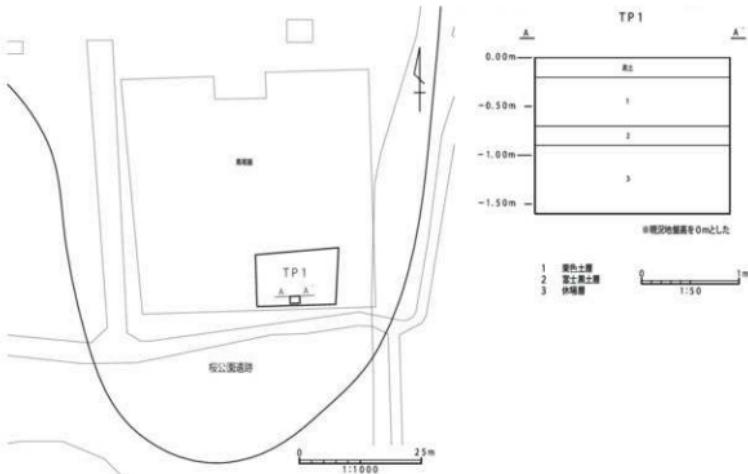
##### 調査の結果

TP1の土層堆積状況は、地表から-0.2mまでが表土、-0.2mから-0.7mまでが栗色土層、-0.7mから-0.9mまでが富士黒土層、以下休場層となっていた(第15図)。

遺構・遺物は確認されなかった。



第14図 桜公園遺跡調査地位置図



第15図 桜公園遺跡試掘坑配置図・柱状図

## (2) 松長古墳群（1～4）

松長古墳群は沼津市片浜地区に所在する。古墳時代後期の円墳が点在する古墳群である。なお、松長古墳群の範囲内には、古代の集落跡である東烟毛遺跡や叶遺跡が存在する。現在該当する範囲の大半は住宅地となっており、宅地造成や住宅新築工事などの開発計画が盛んである。令和元年度は4件の個人住宅に伴う工事が予定されたことから、工事に先立って確認調査を実施した。



第16図 松長古墳群調査地全体図

### ①松長古墳群 1

#### 所在地

沼津市大諏訪字北道並 215番3外

#### 調査面積

3m<sup>2</sup>

#### 調査期間

令和元年10月24日

#### 調査原因

個人住宅新築工事

#### 調査の概要

確認調査は、対象地に試掘坑(TP)を1か所設定し、重機によって掘削した。

#### 調査の結果

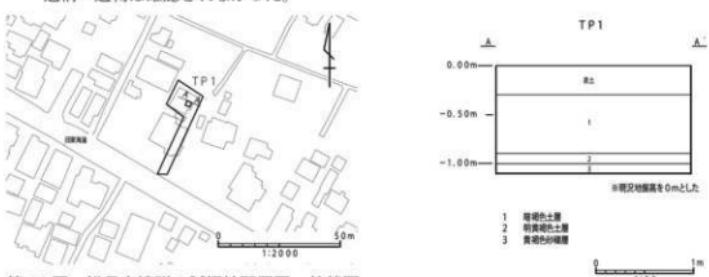
TP1の土層堆積状況は-0.3mまでが表土、-0.3mから-0.9mまでが暗褐色土層、-0.9mから-1.0mまでが明黄褐色土層、以下黄褐色砂礫層となっていた(第18図)。

遺構・遺物は確認されなかった。



第17図 松長古墳群1調査地位置図

### 第18図 松長古墳群1試掘坑配置図・柱状図



## ②松長古墳群2

### 所在地

沼津市小源訪字西通 368 番 4 外

### 調査面積

10m<sup>2</sup>

### 調査期間

令和2年1月7日

### 調査原因

個人住宅新築工事

### 調査の概要

確認調査は、対象地に試掘坑（TP）を1か所設定し、重機によって掘削した。

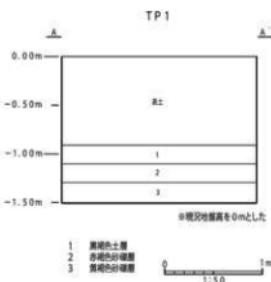
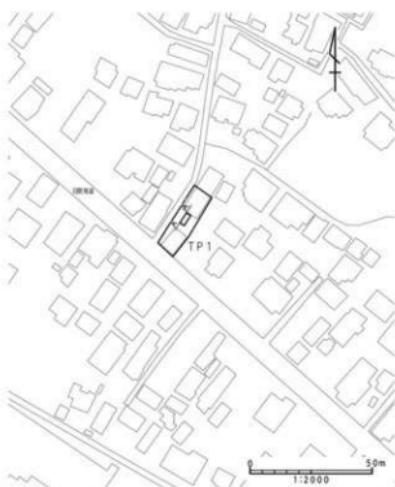
### 調査の結果

TP 1 の土層堆積状況は -0.9m までが表土、-0.9m から -1.1m までが黒褐色土層、-1.1m から -1.3m までが赤褐色砂礫層、-1.3m より以下は黄褐色砂礫層となっていた（第20図）。

遺構・遺物は確認されなかった。



第19図 松長古墳群2 調査地位置図



第20図 松長古墳群2 試掘坑配置図・柱状図

### ③松長古墳群3

#### 所在地

沼津市大諏訪字河原 431 番 1

#### 調査面積

8 m<sup>2</sup>

#### 調査期間

令和2年2月18日

#### 調査原因

個人住宅新築工事

#### 調査の概要

確認調査は、対象地に試掘坑(TP)を2か所

設定し、重機によって掘削した。

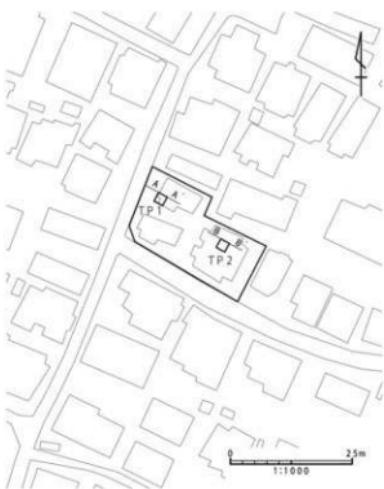
#### 調査の結果

TP 1 の土層堆積状況は地表から -0.7m までが表土、-0.7m から -0.9m までが明黄褐色砂礫層、-0.9m から -1.3m までが黄褐色砂礫層となっていた。遺構・遺物は確認されなかった。

TP 2 の土層堆積状況は地表から -0.7m までが表土、-0.7m から -1.1m までが遺物を含む暗褐色砂質土層、以下黄褐色砂礫層となっていた。第1層(暗褐色砂質土層)からは粘土や焼土が確認されるとともに、遺物が出土したことから、TP 2 の箇所には住居址及びそれに伴うカマドが存在するものと推測される。



第21図 松長古墳群3 調査地位置図



第22図 松長古墳群3 試掘坑配置図・柱状図

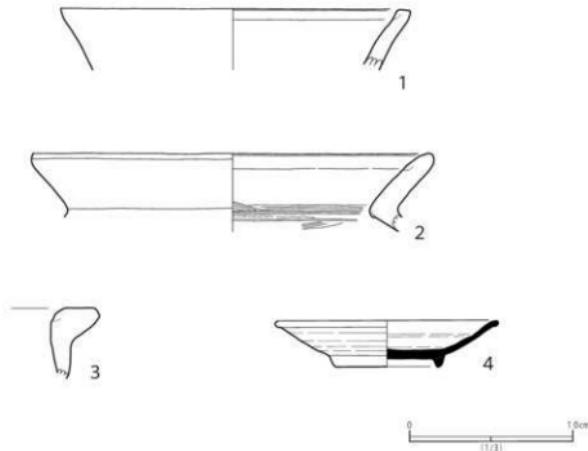
TP2 の第 1 層(暗褐色砂質土層)から出土した遺物は 15 点であり、うち 4 点を図示した(第 23 図)。1 ~ 3 は土師器、4 は須恵器である。

土師器は甕(1・2)、壺(3)が出土している。1 は駿東型球胴甕の口縁である。口縁部は外傾して立ち上がる器形を呈する。口縁端部を内側に折り返しわざかに肥厚させ、ヨコナデを施す。

2 は駿東型球胴甕の口縁から頸部の破片である。頸部は「く」の字状に屈曲し、口縁部を外傾させる。焼成は良好で口縁部は外面面ともにヨコナデで整えている。内面の頸部から胸部にかけてハケメ調整が残る。

3 は壺の口縁の一部である。口縁部は断面が三角形状に肥厚し、口縁端部を平らに整えている。

須恵器は皿(4)が出土している。4 は有台皿の一部で、扁平な器形を呈し、底部から口縁部にかけてやや直線的にひらく。口唇部は外反し丸みを帯びる。東笠子 24 号窯式に類似する。



第 23 図 松長古墳群 3 出土遺物実測図

第 4 表 松長古墳群 3 出土遺物観察表

| 団体<br>番号  | 遺物<br>番号 | 出土<br>地點 | 断面<br>形状 | 口縁<br>最高<br>直径               | 釉土                     | 焼成 | 色調             | 操作          | 形態的特徴                              | 手法的特徴                          | 備考        |
|-----------|----------|----------|----------|------------------------------|------------------------|----|----------------|-------------|------------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 23 図<br>1 | -        | TP2      | 甕        | (31.2cm)<br>-                | φ 3mm の白色砂粒 25 含む<br>- | 良  | SYM/3 にぶい赤褐色   | 口縁部         | 口縁は外傾して立ち上がる                       | 外面 口縁部ハケメ後縁位ナデ<br>内面 緩仕ナデ      | 駿東型甕      |
| 23 図<br>2 | -        | TP2      | 甕        | (24.8cm)<br>-                | φ 3mm の白色砂粒 25 含む<br>- | 良好 | ZSYH4/3 にぶい赤褐色 | 口縁部<br>-一部部 | 頸部は「く」の字状に屈曲し口縁<br>は外傾して立ち上がる      | 外面 口縁部縁位ナデ<br>内面 口縁部縁位ナデ 振削ハケメ | 駿東型甕      |
| 23 図<br>3 | -        | TP2      | 壺        | -<br>-                       | φ 1mm の白色砂粒 5% 含む<br>- | 良  | SYM/4 にぶい赤褐色   | 口縁部         | 口縁部を平面に整える<br>裏合が付く                | 外面 口縁部縁位ナデ<br>内面 口縁部縁位ナデ 裏部ハケメ | 土師壺       |
| 23 図<br>4 | -        | TP2      | 皿        | (32.0cm)<br>3.0cm<br>(6.7cm) | φ 1mm の白色砂粒 15 含む<br>- | 良好 | SYM/1 茶色       | 口縁部<br>-一部部 | 扁平な器形で断面が三角形の<br>裏合が付く<br>口唇部は外反する | 外面 回転ナデ<br>内面 回転ナデ             | 須恵器<br>9C |

#### ④松長古墳群4

##### 所在地

沼津市今沢字アラク 19 外

##### 調査面積

8 m<sup>2</sup>

##### 調査期間

令和2年2月25日

##### 調査原因

長屋建築工事

##### 調査の概要

確認調査は、対象地に試掘坑(TP)を2か所設定し、重機によって掘削した。

##### 調査の結果

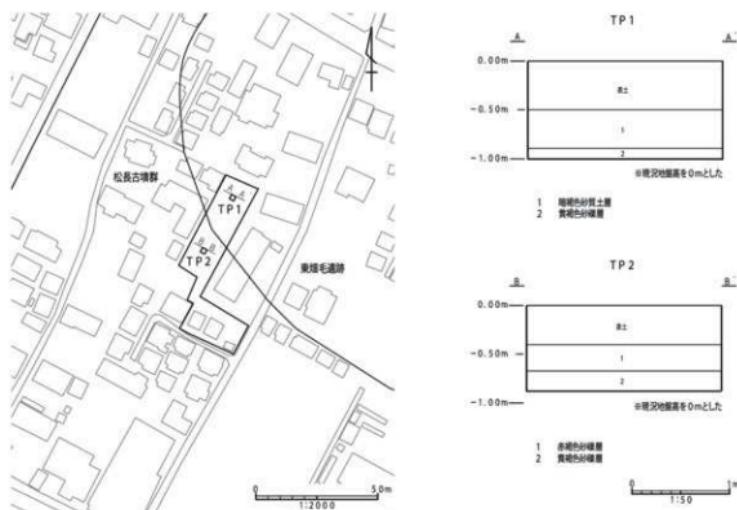
TP 1 の土層堆積状況は地表から -0.5m までが表土、-0.5m から -0.9m までが暗褐色砂質土層、以下黄褐色砂礫層となっていた。

TP 2 の土層堆積状況は地表から -0.4m までが表土、-0.4m から -0.7m までが赤褐色砂礫層、以下黄褐色砂礫層となっていた。

TP 1・2ともに遺構・遺物は確認されなかった。



第24図 松長古墳群4調査地位置図



第25図 松長古墳群4 試掘坑配置図・柱状図

### (3) 石田古墳群

#### 所在地

沼津市大岡 2720-18

#### 調査面積

4 m<sup>2</sup>

#### 調査期間

令和2年3月6日

#### 調査原因

一般住宅新築工事

#### 調査の概要

確認調査は、対象地に試掘坑(TP)を1か所設定し、重機によって掘削した。

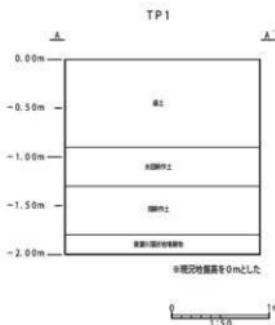
#### 調査の結果

TP 1の土層堆積状況は地表から-0.9mまでが盛土となっており、-0.9mから-1.3mまでが水田耕作土、-1.3mから-1.8mまでが畑耕作土、-1.8mより下は黄瀬川扇状地堆積物となっていた(第27図)。

遺構・遺物は確認されなかった。



第26図 石田古墳群調査地位置図



第27図 石田古墳群試掘坑配置図・柱状図

#### (4) 天神洞古墳群

##### 所在地

沼津市中瀬町 71-1 外

##### 調査面積

16m<sup>2</sup>

##### 調査期間

令和2年3月17日・3月24日

##### 調査原因

解体工事

##### 調査の概要

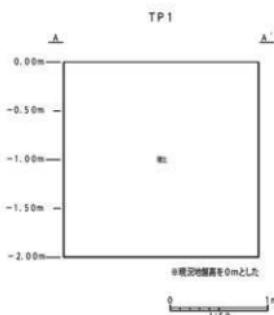
確認調査は、対象地に試掘坑（TP）を4か所設定し、重機によって掘削した。

##### 調査の結果

全てのTPにおいて、地表から-2.0mまで埋土となっている土層堆積状況が確認され、遺構・遺物は検出されなかった（第29図）。当該地は現況が石材加工場及び倉庫であることから、建設時にしそれ以前に大きく攪乱を受けているものと判断される。



第28図 天神洞古墳群調査地位置図



第29図 天神洞古墳群試掘坑配置図・柱状図

## (5) 岡宮北土地区画整理事業地内（大泉寺畠遺跡・山神上遺跡）

## 所在地

- A区 沼津市岡宮 840-4 の一部  
 B区 835-1  
 C区 818-1 の一部  
 D区 834-7  
 E区 862-1 の一部

## 調査面積

約 60m<sup>2</sup> 試掘溝 2か所・試掘坑 10か所  
 (対象面積 4,986m<sup>2</sup>)

## 調査期間

令和2年1月20日～令和2年2月6日

## 調査原因

岡宮北土地区画整理事業

## 調査の概要

大泉寺畠遺跡及び山神上遺跡が含まれる地区で

は、岡宮北土地区画整理事業を実施しており、当該事業と並行して埋蔵文化財の試掘・確認調査、及び本発掘調査を継続して実施している。当該年度は既存建物等の撤去が完了した土地に対し、調査区を A～E 区の 5か所に設定し、試掘・確認調査を実施した。

## 調査の結果

A～C 区内で設定した試掘溝(以下 TR)及び試掘坑(以下 TP)のうち、TR 1・2、TP 2～4 から遺構・遺物を確認した(第 31 図)。

TR 1 では、中央部から溝状遺構(SD)を 1 条、小穴(PT)を 1 基検出した(第 32 図)。SD 1 は新規スコリア層を検出面として、富士黒土層まで掘り込んでいた。規模は幅 0.5m から 0.6m、深さ 0.4m を測る。年代は、覆土の中に土師器が少量含まれることから、古代の遺構と推測される。

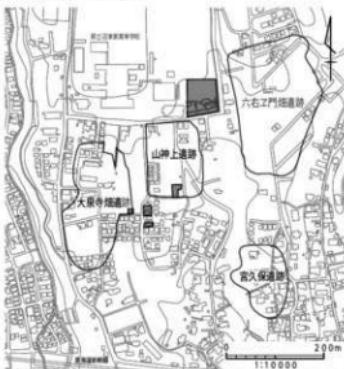
TR 2 では、SD 2 を検出した。平面プランで確認することはできなかったが、土層断面で堆積状況を観察した結果、富士黒土層上面を検出面として休場層まで掘り込まれていた。一部攪乱を受けていたが、規模は幅約 1.1m、深さ 0.4m を測る(第 32 図)。

TP 2 では、土層断面を確認したところ、粘土が混じる堆積が認められた。覆土には遺物が含まれないこと、平面プランでは確認が困難であることなどから判然としないが、微量ながら焼土が混じるため、住居址の可能性がある(第 33 図)。

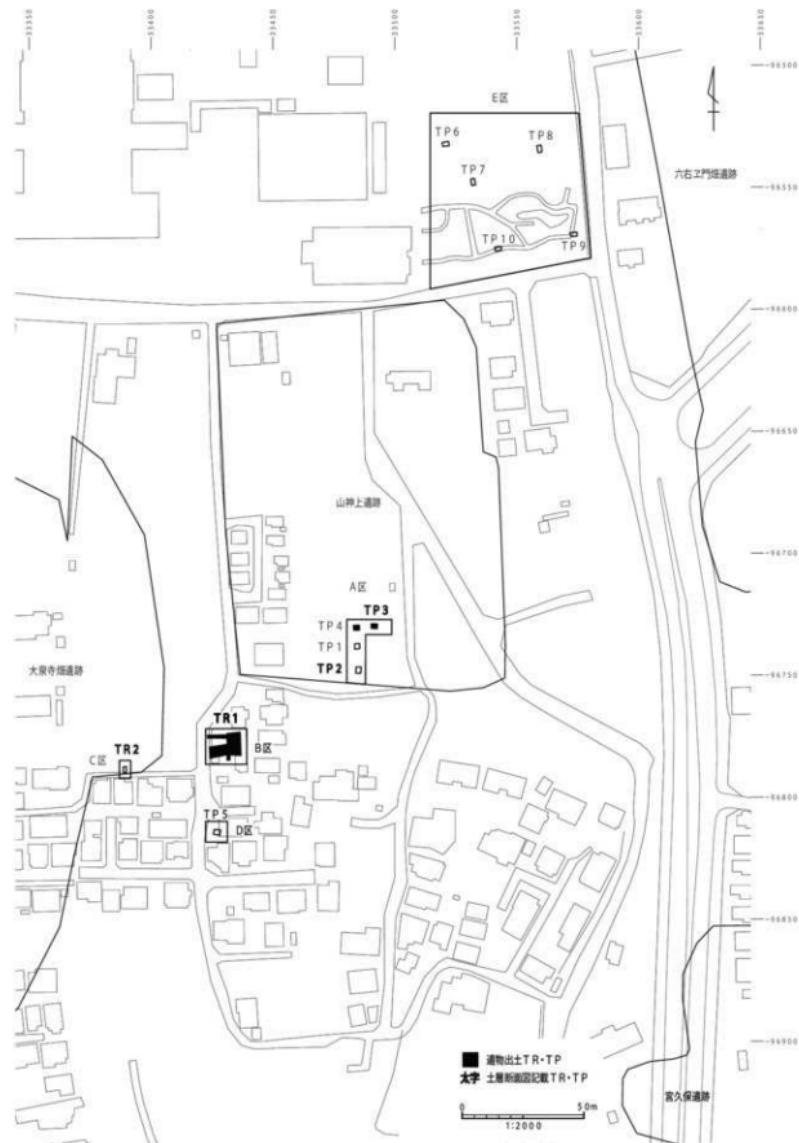
TP 3 では、中央を北西～南東方向に続く SD 3 を検出した。SD 3 は栗色土層上面を検出面に休場層まで掘り込んでいる。規模は幅約 0.6m、深さ 0.4m を測る(第 33 図)。覆土から石鏃が 1 点出土しているが、埋没する際の混ざり込みと考えられる。

TP 4 では、土師器が 1 点出土したものの、遺構は確認されなかった。

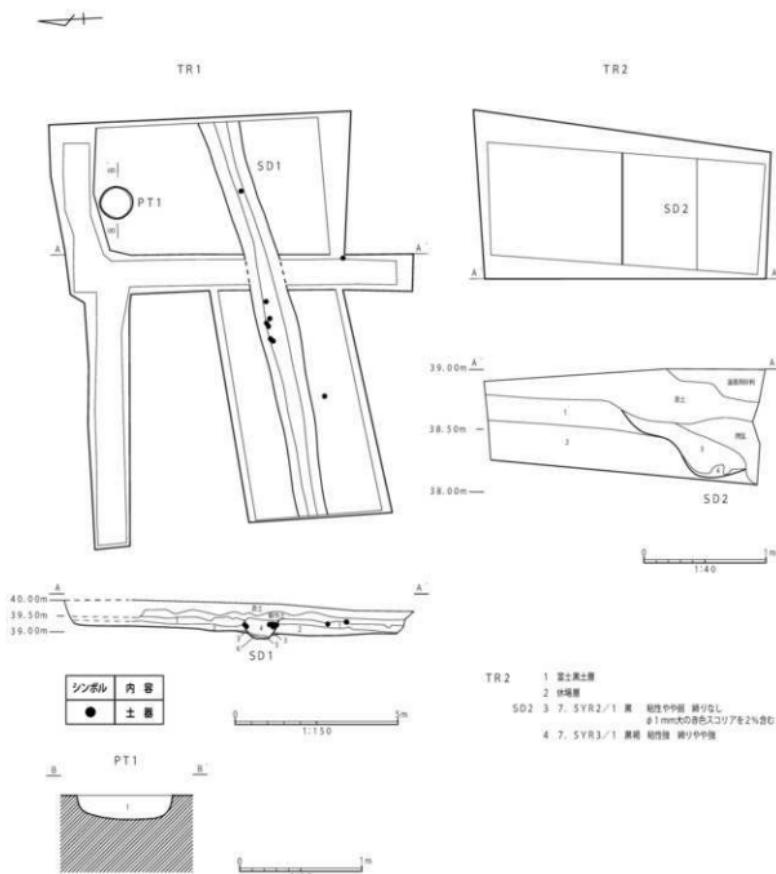
出土した遺物は、大半が溝状遺構から出土したものである。土師器や須恵器を少量出土したが、いずれも小片であるため写真の掲載にとどめ、SD 3 から出土した基部が凹状の石鏃のみを第 34 図に図示した。



第 30 図 岡宮北土地区画整理事業地内  
調査位置図

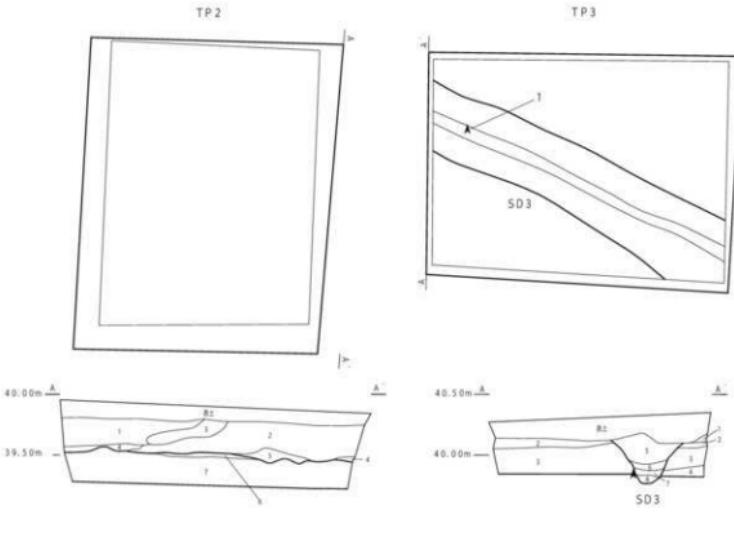


第31図 岡宮北土地区画整理事業地内試掘溝・試掘坑配置図



- TR1 1 新固スコリア層  
2 黄色土層  
3 富士黒土層  
SD1 4 7. SYR2./1 黒 粘性や中強 締りなし  $\phi 1\sim2mm$  大の赤色スコリアを 1% 含む  
5 7. SYR2./1 黒 粘性や中強 締りなし  $\phi 1mm$  大の赤色スコリアを 2% 含む  
6 7. SYR3./1 黒強 粘性強 締りや中強  
PT1 1 7. SYR2./1 黒 粘性なし 締りなし  $\phi 1\sim3mm$  大の赤色スコリアを 1% と、 $\phi 1\sim2mm$  大の白色粒子を 1% 含む

第32図 岡宮北土地区画整理事業地内試掘溝1・2平面図・断面図



TP2  
 1 7. SYR2./1 黒 粘性なし 剥りなし  $\phi 1\sim2\text{mm}$ の赤色スコリアを3%含む  
 2 7. SYR2./1 黒 粘性なし 剥りなし  $\phi 1\sim3\text{mm}$ の赤色スコリアを1%含む  
 3 7. SYR4./3 青 粘性強 剥りや中強 褐色土が2mm以上ある 粘土アリ  
 4 7. SYR3./3 青褐色 粘性や中弱 剥りや中弱 褐色土に黒色粘質土粒が3%混じる  
 5 7. SYR3./2 黒褐色 粘性や中弱 剥りや中弱  $\phi 1\text{mm}$ 以上の赤色スコリアが混じる 粘土アリ  
 6 宮土黒土層  
 7 伏地層

| シンボル | 内 容 |
|------|-----|
| ▲    | 石 片 |

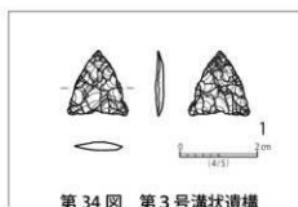
0 1 m  
1.40

TP3  
 1 薄褐色土層  
 2 宮土黒土層  
 3 宮土黒土層  
 4 伏地層  
 SD  
 5 7. SYR2./1 黒 粘性なし 剥りなし  $\phi 1\text{mm}$ 以上の赤色スコリアを1%含む  
 6 7. SYR2./2 黒褐色 粘性や中弱 剥りなし  $\phi 1\text{mm}$ 以上の赤色スコリアを3%含む  
 7. SYR2./1 黒 粘性や中弱 剥りなし  $\phi 1\text{mm}$ 以上の赤色スコリアを3%含む  
 8 7. SYR3./2 黒褐色 粘性や中弱 剥りなし  $\phi 1\text{mm}$ 以上の赤色スコリアを1%含む

第33図 岡宮北土地区画整理事業地内試掘坑2・3平面図・断面図

第5表 岡宮北土地区画整理事業地内出土遺物観察表

| 団体<br>番号  | 遺物<br>番号 | 出土<br>地点     | 器種 | 石材  | 層位 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 量(g) | 備考 |
|-----------|----------|--------------|----|-----|----|--------|-------|--------|------|----|
| 34 図<br>1 | 2        | TP 3<br>SD 3 | 石鏡 | 黑曜石 | ?  | 1.8    | 1.25  | 0.25   | 0.5  |    |



第34図 第3号溝状遺構出土遺物実測図

## (6) 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）

**所在地**

沼津市桃里 280-6 外

**調査面積**428m<sup>2</sup>**調査期間**

令和2年2月17日～令和2年3月5日

**調査原因**

令和元年度新貨物ターミナル調整池（2号調整池）整備工事ほか

**調査の概要**

試掘調査は JR 東海道本線南側の新貨物ターミナル建設予定地内における埋蔵文化財の有無を確認するため、9か所の試掘溝（TR26～34）と2か所の試掘坑（TP1・2）を設定して調査した。重機による表土除去後、人力による掘り下げを行った。

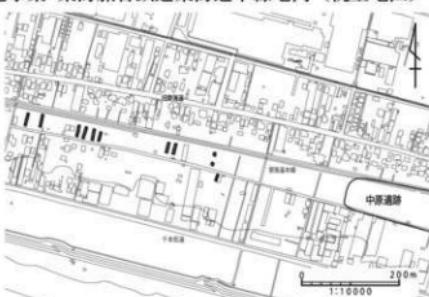
**調査の結果**

遺構は溝状遺構を確認したが、遺物は確認されなかった。土層は堆積状況が良好な TR27 を標準堆積として図示した（第 36 図）。

TR27 は地表から -0.4m まで表土、-0.4m から -0.5m までが黒褐色土層、-0.5m から -0.6m までが暗褐色土層、-0.6m から -0.8m までが砂礫層、-0.8m から -0.9m までがカワゴ平バミスを含む黄褐色砂質土層、-0.9m 以下は砂礫層が続く。

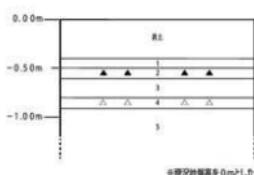
平成 30 年度より実施していた試掘調査を含め、遺構が確認された範囲は令和元年度調査の TP1・2 から TR30 の範囲内（第 37 図）である。このため、当該範囲を桃里地区の小字名から上原遺跡として、埋蔵文化財包蔵地新規登録を行った。

なお、TR26 以前の試掘調査結果について  
 は、「沼津市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書  
 3」（2021）で報告している。



第 35 図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業  
東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）  
調査地位置図

TR27 標準土層

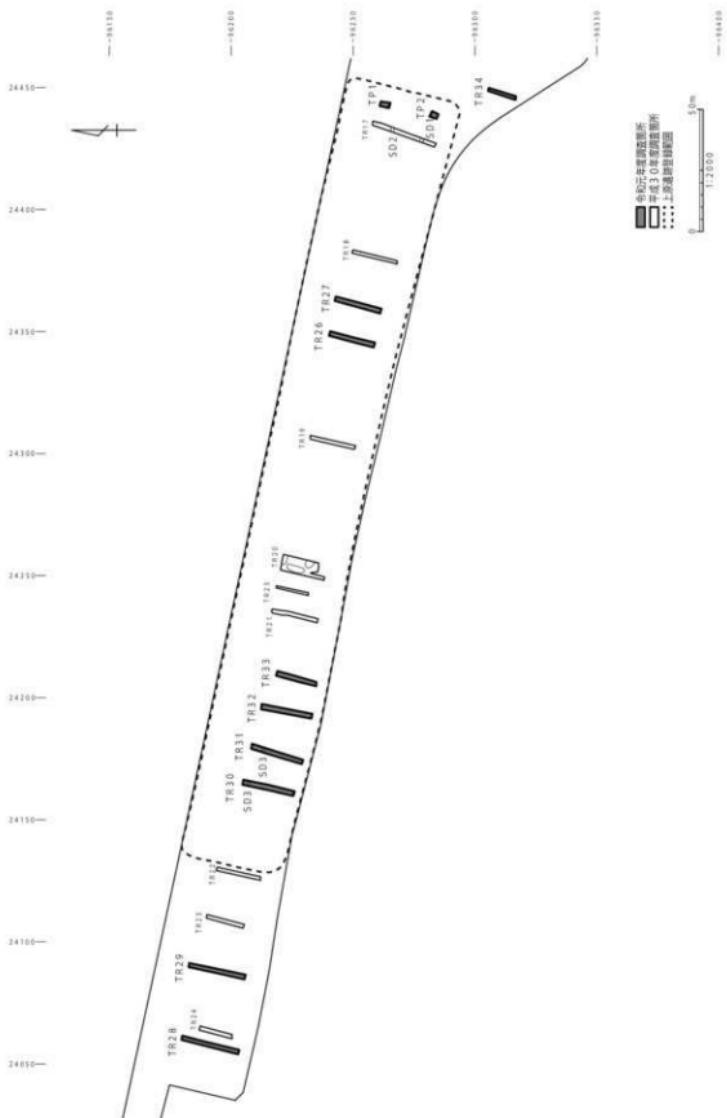


- 1 黒褐色土層
- 2 暗褐色土層
- 3 砂礫層
- 4 黄褐色砂質土層 カワゴ平バミス含む
- 5 砂礫層

▲ 大深度スコリア  
 △ 新規スコリア

1:50 m

第 36 図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業  
東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）  
土層柱状図

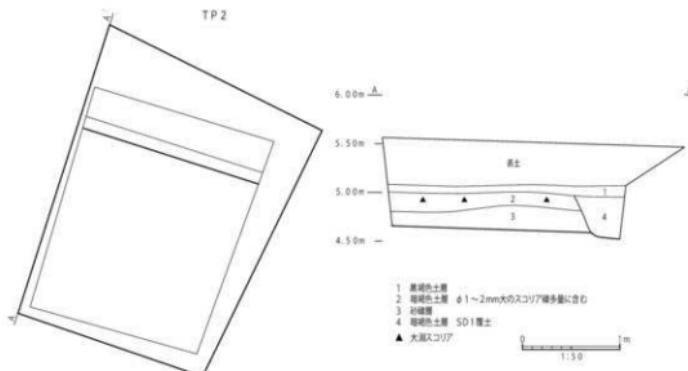
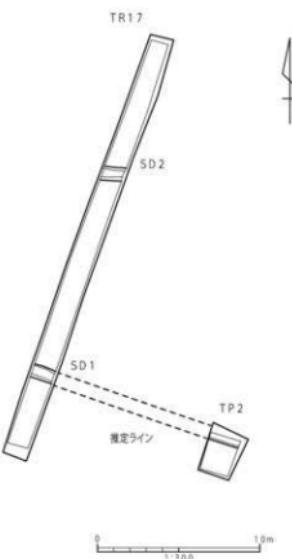


第37図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）  
試掘溝・試掘坑配置図

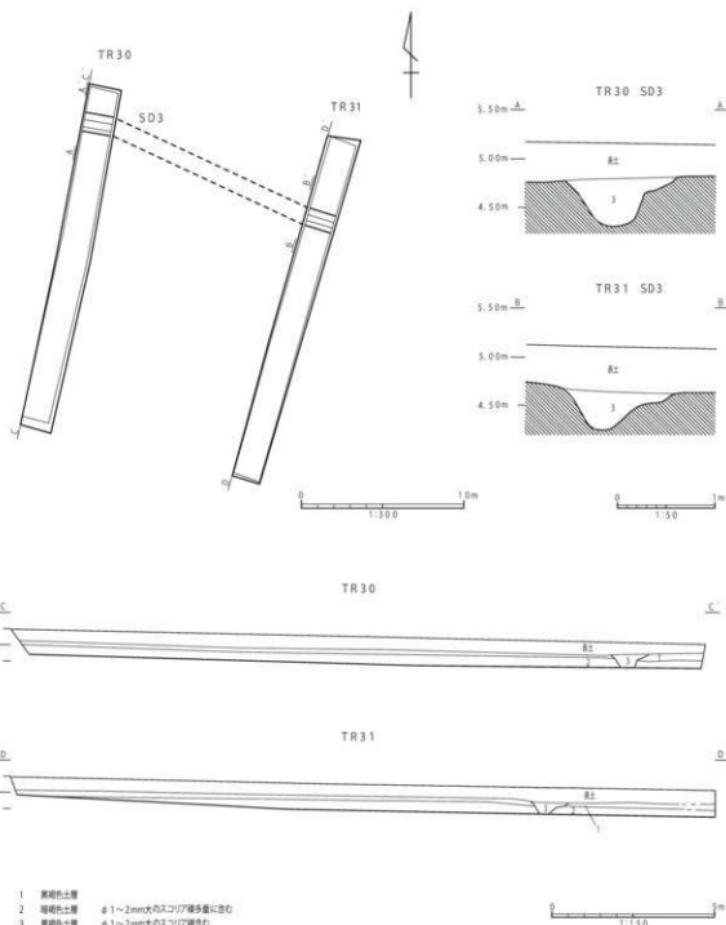
溝状遺構（SD1・3）はTR30・31及びTP2で確認した。

TP2で確認したSD1は、TP2において平面プランを確認することはできなかったが、断面観察から大淵スコリアを含む第2層暗褐色土層上面を検出面とし、東西方向に延びる。規模は幅約0.6m、深さ約0.5mを測る。平成30年度の調査でTR17で確認された溝状遺構に続くものであると推測される。年代は、遺物が伴わないので明確ではないが、覆土中に大淵スコリアの二次堆積が認められることから、古代以降であると推測される（第38図）。

SD3はTR30・31で確認された溝状遺構で、いずれも第1層上面で検出しておらず、東西方向に延びている。TR30・31の両隣の位置において、平成30年度・令和元年度に調査を実施したTR22・32では溝状遺構は確認されていないことから、その範囲は不明である。断面形は片側に中段を有したU字状を呈する。規模は幅約0.5m、深さ約0.4mを測る。年代は、遺物が伴わないので明確ではないが、覆土中に大淵スコリアの二次堆積が認められることから、古代以降であると推測される（第39図）。



第38図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）  
試掘溝17・試掘坑2 平面図・断面図



第39図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内（桃里地区）  
試掘溝30・31平面図・断面図



写 真 図 版





春ノ木遺跡1区  
調査地（南西より）



春ノ木遺跡1区  
作業状況



春ノ木遺跡1区  
調査区完掘（南より）



1



2



3



4

春ノ木遺跡1区  
出土遺物



春ノ木遺跡2区  
作業状況



春ノ木遺跡2区  
第1号竪穴住居址遺物出土状況



春ノ木遺跡 2区  
調査区完掘（北より）



1



2



3

春ノ木遺跡 2区  
出土遺物



春ノ木遺跡3区  
作業状況



春ノ木遺跡3区  
調査区完掘（東より）



春ノ木遺跡3区  
出土遺物



興國寺城跡  
本丸跡全景（南より）



興國寺城跡  
調査区全景



興國寺城跡  
作業状況（南西より）



興國寺城跡  
作業状況（西より）



興國寺城跡  
石垣検出状況（南より）



興國寺城跡  
石垣検出状況 近景（南西より）



桜公園遺跡  
調査地（西より）



桜公園遺跡  
試掘坑重機掘削



桜公園遺跡  
試掘坑土層断面（南より）



松長古墳群1  
調査地（北より）



松長古墳群1  
試掘坑重機掘削



松長古墳群1  
試掘坑土層断面（南より）



松長古墳群2  
調査地（北より）



松長古墳群2  
試掘坑重機掘削



松長古墳群2  
試掘坑土層断面（東より）



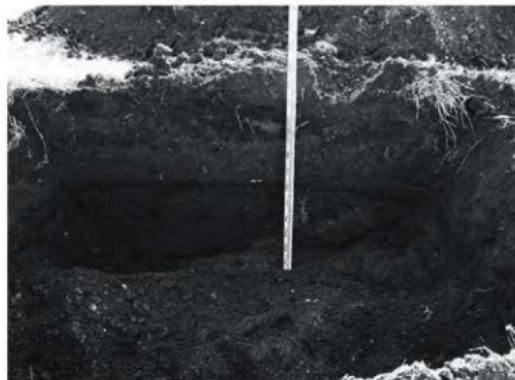
松長古墳群3  
調査地（南西より）



松長古墳群3  
試掘坑1重機掘削



松長古墳群3  
試掘坑1土層断面（南より）



松長古墳群 3  
試掘坑 2 土層断面 (南より)



松長古墳群 3  
試掘坑 2 遺物出土状況



1



2



3



4

松長古墳群 3  
出土遺物

P.L. 12



松長古墳群4  
調査地（南より）



松長古墳群4  
試掘坑1 重機掘削



松長古墳群4  
試掘坑1 土層断面（南より）



石田古墳群  
調査地（西より）



石田古墳群  
試掘坑重機掘削



石田古墳群  
試掘坑土層断面（南より）



天神洞古墳群  
調査地（西より）



天神洞古墳群  
試掘坑重機掘削



天神洞古墳群  
試掘坑土層断面（南より）



岡宮北土地区画整理事業地内  
A区重機掘削



岡宮北土地区画整理事業地内  
A区人力掘削



岡宮北土地区画整理事業地内  
A区試掘坑 2 土層断面(南西より)



岡宮北土地区画整理事業地内  
A区試掘坑3 土層断面（南より）



岡宮北土地区画整理事業地内  
B区試掘溝1 第1号溝状遺構  
土層断面（西より）



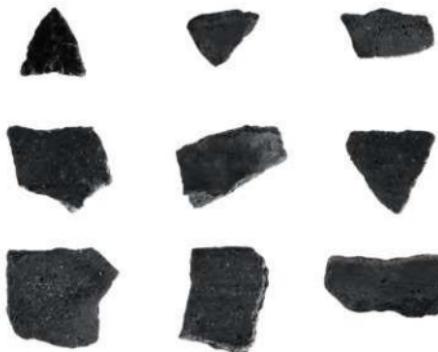
岡宮北土地区画整理事業地内  
C区試掘溝2 土層断面（東より）



岡宮北土地区画整理事業地内  
D区試掘坑 5 人力掘削



岡宮北土地区画整理事業地内  
E区試掘坑 6 土層断面（南より）



岡宮北土地区画整理事業地内  
出土遺物



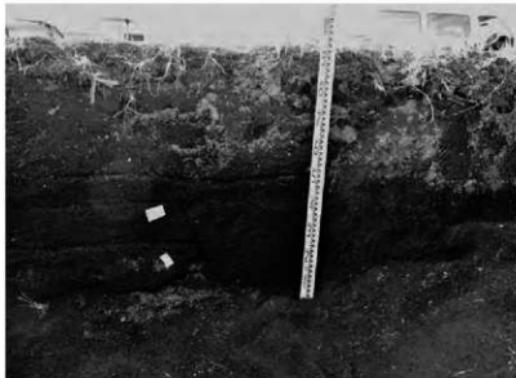
東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道  
事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 調査地



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道  
事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 重機掘削



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道  
事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 試掘坑2 人力掘削



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道  
事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 試掘坑 2  
土層断面 (東より)



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道  
事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 試掘溝 30 (南より)



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道  
事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 試掘溝 30  
第3号溝状造構土層断面 (東より)



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 試掘溝 31 (南より)



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 試掘溝 31  
第3号溝状造構土層断面 (西より)



東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業 東海旅客鉄道東海道本線地内  
(桃里地区) 調査後

## 報告書抄録

|        |   |
|--------|---|
| ふりがな   | ぬまづしないいせきはくつちょうさほうこくしょ4                   |
| 書名     | 沼津市内遺跡発掘調査報告書4                            |
| 副書名    |   |
| 巻次     |   |
| シリーズ名  | 沼津市文化財調査報告書                               |
| シリーズ番号 | 第124集                                     |
| 編著者名   | 小林晃太郎 鈴木史子                                |
| 編集機関   | 沼津市教育委員会                                  |
| 所在地    | 〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16番1号 TEL055-931-2500㈹ |
| 市町村コード | 22203                                     |
| 発行年月日  | 西暦 2022年3月4日                              |

| 調査<br>年度 | 所<br>番号    | 所調遺跡名<br>地名                                       |                             | 所在地<br>北緯 東経                                       | 調査期間<br>主な時代                             | 主な遺構<br>主な遺物     |
|----------|------------|---|-----------------------------|--|--|------------------|
|          |            | 市道番号  | 調査内容<br>種別                  |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅰ章<br>第1節 | 春ノ木遺跡1区   |                             | 沼津市東郷路字春ノ木902番3外<br>北緯 35° 07' 19" 東経 138° 50' 17" | 2019.6.25<br>弥生・古墳<br>集落跡                | 弥生土器・土加器         |
|          |            | 76  | 本発掘調査<br>4.4m <sup>2</sup>  |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第1節 | 春ノ木遺跡2区   |                             | 沼津市東郷路字春ノ木902番3外<br>北緯 35° 07' 19" 東経 138° 50' 16" | 2019.6.26<br>弥生・古墳<br>集落跡                | 弥生土器・土加器         |
|          |            | 76  | 本発掘調査<br>4.2m <sup>2</sup>  |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第1節 | 春ノ木遺跡3区   |                             | 沼津市東郷路字春ノ木902番6外<br>北緯 35° 07' 18" 東経 138° 50' 01" | 2019.10.21<br>弥生・古墳<br>集落跡               | 弥生土器             |
|          |            | 76  | 本発掘調査<br>4m <sup>2</sup>    |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第2節 | 興國寺城跡   |                             | 沼津市祖古屋字赤池126-3外<br>北緯 35° 08' 28" 東経 138° 48' 24"  | 2019.10.1～2020.1.10<br>興國<br>城郭          | 石垣・石階段・虎口・羅城門建物跡 |
|          |            | 35  | 内容確認調査<br>200m <sup>2</sup> |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 桜公園遺跡   |                             | 沼津市足高156-1<br>北緯 35° 08' 26" 東経 138° 51' 08"       | 2019.9.26<br>弥生<br>集落跡                   |                  |
|          |            | 133   | 確認調査<br>3m <sup>2</sup>     |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 松長古墳群1  |                             | 沼津市大瀬防北道並215番3外<br>北緯 35° 06' 45" 東経 138° 49' 40"  | 2019.10.24<br>古墳                         |                  |
|          |            | 195   | 確認調査<br>3m <sup>2</sup>     |  |  | その他の墓            |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 松長古墳群2  |                             | 沼津市小瀬防字西通368番4外<br>北緯 35° 06' 33" 東経 138° 49' 58"  | 2020.1.7<br>古墳                           |                  |
|          |            | 195   | 確認調査<br>10m <sup>2</sup>    |  |  | その他の墓            |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 松長古墳群3  |                             | 沼津市大瀬防字河原431番1<br>北緯 35° 06' 38" 東経 138° 50' 00"   | 2020.2.18<br>古墳・平安<br>土加器・須恵器・灰釉陶器       | 住居址              |
|          |            | 195   | 確認調査<br>8m <sup>2</sup>     |  |  | その他の墓            |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 松長古墳群4  |                             | 沼津市今武字アラク19外<br>北緯 35° 07' 00" 東経 138° 48' 55"     | 2020.2.25<br>古墳                          |                  |
|          |            | 195   | 確認調査<br>8m <sup>2</sup>     |  |  | その他の墓            |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 石田古墳群   |                             | 沼津市大岡2720-18<br>北緯 35° 06' 59" 東経 138° 52' 55"     | 2020.3.6<br>古墳                           |                  |
|          |            | 420   | 確認調査<br>4m <sup>2</sup>     |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 天神洞古墳群  |                             | 沼津市中郷町71-1外<br>北緯 35° 05' 54" 東経 138° 52' 44"      | 2020.3.17～2020.3.24<br>古墳                |                  |
|          |            | 207   | 確認調査<br>16m <sup>2</sup>    |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 興宮北上地区(面野原事業地内)<br>(大泉寺遺跡・山神上道路)                  |                             | 沼津市興宮840-4外<br>北緯 35° 07' 37" 東経 138° 52' 00"      | 2020.1.20～2020.2.6<br>縄文・奈良・平安<br>石器・土加器 | 住居址・溝状遺構         |
|          |            | 144-375   | 試掘・確認調査<br>60m <sup>2</sup> |  |  |                  |
| R I      | 第Ⅱ章<br>第3節 | 駿駿河沿岸域都市計画都市高速<br>鉄道事業<br>駿海駅客駅道東海道本線地内<br>(桃里地区) |                             | 沼津市桃里280-6外<br>北緯 35° 07' 56" 東経 138° 45' 59"      | 2020.2.17～2020.3.5<br>敷地跡・集落跡            | 溝状遺構・方形削基        |
|          |            | —   | 試掘調査<br>428m <sup>2</sup>   |  |  |                  |

沼津市文化財調査報告書 第124集  
沼津市内遺跡発掘調査報告書 4

令和4年2月22日 印刷  
令和4年3月 4日 発行

編集／沼津市教育委員会  
発行／沼津市教育委員会  
沼津市御幸町16番1号  
TEL (055) 931-2500㈹  
印刷／みどり美術印刷株式会社